

## 式 辞 令和5年度第1学期始業式

北条高等学校2年次3年次の生徒の皆さん、初めまして。校長の渡邊俊です。どうぞよろしくをお願いします。

年度始めにあたり、スタートの話と磨く話という二つの話をします。

今日は始業式です。令和5年度が始まり、1学期が始まります。2年次生の皆さん、3年次生の皆さん、一人一人のスタートの日として、大事に丁寧に過ごしてほしいと思っています。また、午後には新入生も入学してきます。新しい1年次生にも、いいスタートの日を迎えてほしいと心から願っています。

今言ったことは、本当のことなのですが、私にはちょっと変わったところもあって、順調にスタートできる多くの人がいる中で、スタートラインで緊張してしまう人や、うまくスタートできない人のことが気になってしまいます。

人生や世の中には、うまくいくことも、うまくいかないこともあります。スタートラインでうまくいかないことがあると、落ち込んだり、後悔したり、元気がなくなったり、申し訳ない気持ちになったりすることがあります。それでいいんだとも思います。

でも、何回かに1回、10回に1回でもいい。周りの人に支えられたり、励まされたり、自分の中の勇気をふりしぼったりして、もう一度スタートラインに立つために顔を上げることができればいいな、と思います。

もう一度スタートすることを、リスタートと言うそうです。私は、北条高校を、リスタートがいっぱいできる学校にしたいと考えています。リスタートするということは、失敗をたくさんすることができるということでもあります。学校は、意味のある失敗や意志のある失敗をたくさん経験する場所だと私は考えています。私は、生徒の皆さんのリスタートを全力で応援したいと思っています。

次に、磨く話です。私は、今年度の北条高校の目標について、＜Iの力を伸ばし、Weの世界を広げよう＞の後を、「人」を想い、自分を磨く」にしました。

人をかぎかっこに入れました。理由は、他人という狭い意味ではなく、自分も含めた「人」という意味をこめて想像してほしいからです。

「自分を磨く」について、磨かなくても自分は自分としてここにいますし、それでいいのですが、できることならば、人（自分を含めた人）のことを真剣に想像し、その上で、よりよく生きようと努力することが、磨くということだと考えたからです。

北条高校の全ての生徒一人一人に、「人」を想うことを通して自分を磨いてほしいと願っています。

最後に、感染防止対策のマスクの着用について。この4月から学校では、

- 「マスク着用を求めない」が基本（混雑空間等を除く）
- マスク着脱を指示したり指導したりしない
- 生徒間でマスク着用の有無による差別偏見がないようにする

ということになっています。

結果として、マスクを外す人もいれば、例えば花粉症等の事情があって着ける人もいる、という状況になります。これが4月からの日常になります。

マスクについて、政府や、県や、学校が定めたルールを守る生活は終わりです。最初は戸惑うことと思いますが、皆さんはこれから、自分の置かれた状況を把握し考えて、自分の責任で判断する生活に少しずつ慣れていってほしいと思います。

私が目指してほしい北条高校生像は、自分が置かれた環境や状況を理解し、適切な対応を考え、自分の意志で行動し、結果を引き受ける覚悟を持った北条高校生です。

今日は、リスタートと「人」を想い、自分を磨く」ということと、自分で決めて結果を引き受ける覚悟ということ伝えて、式辞とします。

令和5年4月10日

愛媛県立北条高等学校長 渡邊 俊